

一般社団法人日本アレルギー学会
2022年度(2022年7月期) 事業報告書
(2022年4月1日から7月31日まで)

I. 会員の異動状況

1) 正会員

2022年3月31日現在	12,486名
2022年7月31日現在	12,248名
増減数	238名(減)

内訳	新入会員	90名
	除退会員	320名
	物故会員	8名

役員(理事・監事)、代議員

2022年3月31日現在	理事26名	監事2名	代議員385名
2022年7月31日現在	理事26名	監事2名	代議員385名
増減数	0名	0名	0名

2) 名誉会員

2022年3月31日現在	35名
2022年7月31日現在	33名
増減数	2名(減)

3) 賛助会員

2022年3月31日現在	25社
2022年7月31日現在	23社
増減数	2社(減)

II. 事業の状況

1. 学術大会、講演会等の開催(定款第5条第1号)

1) 第8回総合アレルギー講習会

会期: 2022年3月26日(土)~27日(日)・・・現地実施+Live配信

2022年4月11日(月)~5月10日(水)・・・オンデマンド配信

会場: パシフィコ横浜ノース

開催方法: ハイブリッド開催

参加者総数: 3,061名(現地来場者+Web配信視聴者)

(内訳) 現地参加者 252名

Web(Live配信)参加者 1,814名

Web(オンデマンド配信)参加者 1,853名

会員 2,867名

非会員 194名

講義数: 48(講義23、教育セミナー12、イブニングシンポジウム5、実習8)

2) 地方会

【近畿支部】

第7回近畿地方会

会長: 西村 善博(北播磨総合医療センター)

開催日: 2022年6月5日(日)

場所: アクリエひめじ(姫路市文化コンベンションセンター) および WEB(ライブ)配信

2. 学会誌、ガイドライン、その他の刊行物の発行（定款 第5条 第2号）

1) 和文誌「アレルギー」 71巻3号～5号 計3回発行

発行日 2022年5月1日（71-3号）、6月1日（71-4号）、7月1日（71-5号）

発行部数 71巻3号～5号（通常号）冊子 約12,500部、及びJ-stage、メディカルオンラインにオンラインジャーナル掲載、また電子書籍KaLibに掲載

2) 英文誌「Allergology International」 71巻2号～3号 計2回発行

発行日 2022年4月、7月 オンラインジャーナルと冊子体

発行部数 冊子体1,100部を発刊、希望者のみ配本

エルゼビアのScience Direct及びJ-stageにオンラインジャーナル掲載

3. 専門医、指導医、教育研修施設等の認定（定款 第5条 第3号）

○専門医数 4,692名 ※2022年7月31日現在

内訳：内科 2,140名、小児科 1,657名、皮膚科 448名、耳鼻咽喉科 424名、眼科 23名

1) 令和4年度 専門医の認定

申請者 249名

2021年12月7日 資格審査委員会にて書類審査 249名を受験有資格者と判定

2022年1月23日 新型コロナウイルス感染症の急拡大により試験を中止（延期）、2022年7月16日に

CBT方式で実施した。（令和3年度試験からの繰り越し受験者261名を含む）

合格者は2022年4月1日付で認定する。（令和3年度からの繰り越し受験者のうち希望者は2021年4月1日付認定とする）※受験困難者25名の受験資格は令和5年度試験に繰り越した。

2) 2022年度 指導医の認定（4月～7月認定分）

申請者18名について、資格審査委員会にて随時審査 18名を新たに指導医として認定

3) 2022年度 教育研修施設の認定（4月～7月認定分）

教育研修施設への申請10科、準教育研修施設への申請4科について、資格審査委員会にて随時審査

教育研修施設10科、準教育研修施設4科を新たに認定

4. 研修及び教育の実施（定款 第5条 第4号）

・専門医教育セミナー

第61回 2022年5月31日～6月30日 e-learningによるWeb開催

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款 第5条 第5号）

1) 2022年度海外研究留学助成金

学会ホームページにて公募、応募者3名について選考、2名に交付を決定し、1名は保留とした。

2) 基礎研究支援プログラム 2022

ノバルティス ファーマ株式会社の「Novartis Pharma Grants for Basic Research 2022」に応募し、「基礎研究支援プログラム」が昨年に引き続き採択された。2022年11月に募集予定。

3) 2023年度サノフィ優秀論文賞

サノフィ株式会社の「団体活動支援事業」に応募し、「サノフィ優秀論文賞」が前年度に引き続き採択された。2023年1月に募集の予定。

6. 関連学術団体との連絡及び協力（定款 第5条 第6号）

1) 専門医制度関連：日本専門医機構「日本専門医機構のサブスペシャリティ領域専門医制度に関する事務局向け説明会」（2022年4月5日）にWeb参加、日本専門医機構「サブスペシャリティ領域専門医認定・更新整備指針等に関する説明会（2022年4月7日）にWeb参加、日本内科学会「整備基準に関する意見交換会」（2022年5月16日）にWeb参加、日本専門医機構「日本専門医機構サブスペシャリティ領域専門医研修プログラムシステム概要説明会」（2022年5月17日）にWeb参加、日本専門医機構事務局と（2022年5月27日）面談、日本内科学会「内科系サブスペシャリティ領域学会専門医機構との業務契約等に関する事務局打ち合わせ」（2022年6月24日）にWeb参加、日本専門医機構理事長と（2022年6月24日）面談、日本専門医機構「サブスペ領域の研修プログラムシステム申請説明会」（2022年7月22日）にWeb参加、日本医師会副会長及び常任理事と（2022年7月28日）面談。

2) 公益財団法人日本アレルギー協会との連携協力

- 3) 内科系学会社会保険連合：アレルギー関連委員会運営団体として社員総会・運営委員会に参加。
- 4) 日本医学会：評議員会、臨床部会、医学用語委員会等に委員派遣、分科会としての活動に参加。
- 5) 日本医療安全調査機構：診療行為に関連した死亡の調査について協力関係学会として、全国7ブロックの統括責任者、ブロックごとに推薦担当者窓口および個別調査部会員を配置し、協力体制をとっている。本学会は日本医療安全調査機構の社員として、社員会費（医療安全分担金）を拠出した。

7. 国際的な研究協力と交流の推進（定款 第5条 第7号）

1) World Allergy Organization(WAO)との活動

- ・WAO House of Delegates (2022-23)

日本アレルギー学会から4名の代表を登録（国際交流委員会委員長、副委員長、委員2名）

- ・WAO Board of Directors

本学会会員が参加し、世界のアレルギー研究者と交流。

President: 海老澤元宏理事長

2) Asia Pacific Association of Allergy, Asthma and Clinical Immunology (APAAACI)との活動

アジアのアレルギー研究者と交流。

President: ルビー・パワンカール会員

3) East Asia Allergy Symposium 2022 (EAAS2022)

韓国アレルギー学会 KAAACI 50th Anniversary (2022年5月6-7日)において開催。日本、韓国、中国の3カ国のアレルギー学会によるシンポジウムで、日本より1名の講演者が参加。

4) EAACI Hybrid Congress 2022

EAACI (European Academy of Allergy and Clinical Immunology)の大会 (2022年7月1-3日)が開催され、日本から3名の講演者がオンラインで発表をおこなった。

8. 普及啓発活動（定款 第5条 第8号）

学会Webサイトの一般向けコンテンツ

- ・アレルギーに関する用語やアレルギーの解説、病気についての解説・Q&A等の掲載。
- ・本学会専門医の検索サイト掲載（都道府県、専門、氏名、病院名で検索）。
- ・関連機関からの一般市民向けの公開講座、患者会からの情報等掲載。

9. その他目的を達成するために必要な事業（定款 第5条 第9号）

- ・アレルギー情報センター事業（厚生労働省補助事業）

III. 会議等

理事会・社員総会

1. 第6期 第7回常務理事会

日時：2022年6月19日（日）11:00～12:15

場所：秋葉原コンベンションホール

出席：理事長、常務理事6名

2. 第6期 第8回理事会

日時：2022年6月19日（日）12:30～14:00

場所：秋葉原コンベンションホール

出席：理事長、理事23名、監事2名、顧問2名、支部長4名

3. 第13回定時社員総会

日時：2022年6月19日（日）14:30～15:20

場所：秋葉原コンベンションホール

出席：社員327名（委任状又は議決権行使書出席304名含）、監事2名、陪席2名

4. 第6期 第9回理事会

日時：2022年7月21日（木）18:30～19:30

場所：Web開催

出席：理事長、理事22名、監事2名

理事候補者会議

1. 第7期 第1回理事候補者会議
日時：2022年4月19日（火）18:00～19:00
場所：秋葉原コンベンションホール
出席：理事候補者24名、監事候補者2名、監事2名
2. 第7期 第2回理事候補者会議
日時：2022年5月10日（火）18:00～19:00
場所：Web会議
出席：理事候補者25名、監事候補者2名
3. 第7期 第3回理事候補者会議
日時：2022年7月19日（火）18:00～19:00
場所：Web会議
出席：理事候補者25名、監事候補者1名

各種委員会

- 和文誌「アレルギー」編集委員会（2022年6月22日、メール審議 2022年5月17日、5月18日）
学術情報誌として内容の充実を図り、読者を意識した誌面作りを目指している。（学術大会特別演題演者からの「綜説」、「専門医のためのアレルギー学講座」は総合アレルギー講習会のテーマを基本に2号ずつシリーズを構成、「ガイドラインのワンポイント解説」は常に新しいガイドライン情報を提供する（年8編）、「アレルギー用語解説シリーズ」（専門医を目指す会員が知っておくべきレベルの用語解説を基本とし毎号3編）掲載、「私のアレルギー史」は名誉会員に寄稿を依頼（年1編程度））。
学会Webサイトでは印刷誌発刊とJ-STAGEを利用したオンラインジャーナルを発行し、電子書籍KaLibにも掲載。メディカルオンラインにて順次、全文取載。
2016年10月よりオンライン電子投稿査読システム（ScholarOne）運用を開始している。
また、アレルギー編集事務局会議（2022年3月18日）を開催した（アレルギー編集委員会は上部委員会として審議事項等の承認等を行い、事務局会議は編集委員会よりも小回りが利き、柔軟な議論をする下部組織として設置）。
- 英文誌「Allergology International」編集委員会（2022年5月17日）
Allergology International は、中島裕史編集委員長の下、順調に刊行されている。オンラインジャーナルはエルゼビアのScience Directより発行。冊子は、希望する会員のみ配布（発行1100部）している。2021年インパクト・ファクター（IF）は7.478で前年度比で1.3倍の伸びを示している。また、エルゼビアとの契約更新検討WG（2022年4月26日）にて2023年以降の出版契約更改を検討後、新しい契約案が編集委員会、理事会（2022年6月19日）で承認された。
- 広報委員会・Web編集委員会・啓発活動委員会
本学会Webサイト、若手医師・女性医師向けサイト「Allergology Now」、一般向けWebサイトのupdateを行うとともに、国際交流推進の広報支援、薬剤師・メディカルスタッフに対する広報活動等を進めている。また学術大会会長に委ねられる「第70回学会学術大会」動画収録・配信について、本委員会と協働にて事後配信を行った。2021年10月からSNS配信（Facebook及びTwitter）を開始、継続的に情報発信を行っている。
審議内容
本Webサイトおよび若手医師向けWebサイト、一般向けサイト更新、English Pageの充実、SNS（Facebook・Twitter）配信など。
広報委員会・Web編集委員会合同会議（2022年6月14日、メール審議：2022年4月22日）
広報・Web編集・啓発活動合同会議 委員長打ち合わせ（2022年4月5日）
広報（Web編集）委員会および国際交流委員会 委員長打ち合わせ（2022年5月20日）
現在、国際交流委員会と協働し、本学会Webサイト英語版ページ改修を行っている（2022年秋公開予定）。
- 総務委員会（2022年7月）
2022年度（2023年7月期）事業計画案の検討。
- 財務委員会（2022年7月）
2022年度（2023年7月期）予算案の検討。
- 中・長期計画委員会（旧長期計画委員会）
JSAの現在の課題、優先的に取り組むべき中・長期的課題について検討。

○選考推薦委員会（旧推薦委員会）

*サノフィ株式会社の「団体活動支援事業」に応募し、「サノフィ優秀論文賞」が前年度に引き続き採択された。

*研究助成、外部賞の公募情報について、学会Webサイトで会員に告知した。

○利益相反委員会（メール審議：2022年5月6日）

JGL2024作成WG SRチームのCOI状況確認。答申（2022年5月16日）。

利益相反（COI）自己申告書提出依頼（役員、委員会委員長、特定委員会委員など）。

○専門医制度関係

*専門医制度委員会（2022年5月31日）

令和5年度専門医試験のCBT導入に伴う試験日の変更を検討した。（2023年1月から4月開催に変更）

*試験問題作成委員会（メール審議：2022年7月1日付）

新会員管理システムへの移行に伴う新たな試験採点管理システムの構築について検討した。

*令和4年度認定専門医試験（当初2022年1月23日実施予定）は新型コロナウイルス感染症の急拡大により都内会場での開催を延期し、2022年7月16日（土）にCBT方式にて実施した。

*新専門医制度対策特別委員会（2022年5月20日、6月24日、7月6日）

新専門医制度認定の為の整備基準とカリキュラムの改訂を行った。

*新専門医制度カリキュラム・整備基準のブラッシュアップWG（2022年6月1日）

新専門医制度認定の為の整備基準とカリキュラムの改訂を行った。

*関連団体

日本内科学会（2022年5月16日、6月24日）

「整備基準に関する意見交換会」「内科系サブスペシャリティ領域学会専門医機構との業務契約等に関する事務局打ち合わせ」

日本専門医機構（2022年4月5日、4月7日、5月17日、5月27日、6月24日、7月22日）

「日本専門医機構のサブスペシャリティ領域専門医制度に関する事務局向け説明会」「サブスペシャリティ領域専門医認定・更新整備指針等に関する説明会」「日本専門医機構サブスペシャリティ領域専門研修プログラムシステム概要説明会」「日本専門医機構事務局と面談」「日本専門医機構理事長と面談」「サブスペ領域の研修プログラムシステム申請説明会」

日本医師会（2022年7月28日）

「日本医師会と面談」

○国際交流委員会（2022年4月20日、5月2日メール審議）

*WAO, Asia Pacific Assn of Allergy, Asthma and Clinical Immunology (APAAACI), European Academy of Allergy and Clinical Immunology (EAACI)、DGAKI（ドイツアレルギー学会）などとの交流事業。

*2022年度海外研究留学助成金について、学会ホームページにて公募、応募者3名について選考、2名に助成金交付を決定し、1名は保留とした（採択通知 2022年6月22日）。

○研究推進委員会（2022年4月7日、5月9日メール審議）

・今後の臨床研究支援プログラムのスケジュールについての審議

・第71回学術大会での臨床研究支援プログラム受賞者（2017年度受賞者）による講演の講演者変更、発表形式についての審議

○アレルギー・免疫療法委員会

アレルギーエキス標準品の提供依頼が1施設よりあり、提供を可として、納品した（2022年4月22日）。

○Anaphylaxis 対策委員会（2022年4月12日）

2014年発行の「アナフィラキシーガイドライン」の改訂案を討議し、2022年8月の発行にむけて編集作業をすすめている。

○学術大会委員会（2022年5月11日、Web会議）

第71回大会の実施方法、タイムスケジュール、各プログラム案等の内容確認、ポスターセッション座長候補選定、JSA-JSI Joint Session延長、実施細則についての検討・確認、第72回学術大会のテーマについて確認。

○総合アレルギー講習会実行委員会

*第8回総合アレルギー講習会実行委員会

第8回総合アレルギー講習会オンデマンド配信（4月11日（月）～5月10日（水））の実施。

*第9回総合アレルギー講習会実行委員会（メール審議：2022年4月12日）

第9回総合アレルギー講習会のプログラム作成（座長、講師、実習責任者の推薦、各講義テーマの検討）。

- アレルギー疾患ガイドライン委員会（メール審議：6月27日）
JAGL2022 の英文タイトルと COI 開示方法について検討。
「アレルギー総合ガイドライン2022」、「英文ガイドライン」の作成。
- ◎ガイドラインの発行：「アレルギー総合ガイドライン（JAGL）2022」の発行準備（2022年10月7日発行予定）。
「英文ガイドライン」（AI誌に掲載）の発行準備。
「喘息予防・管理ガイドライン2024」の発行準備。
- *喘息ガイドライン専門部会（2022年5月31日）
スパーサーの評価についての進捗確認。
- *喘息予防・管理ガイドライン（JGL）2024作成WG
SRチーム第1回打合せ会議（2022年6月2日）
「JGL2024」のシステマティックレビュー作業について説明、確認。
- *アレルギー総合ガイドライン（JAGL）2022作成編集会議
(メール審議：2022年6月1日、6月16日、7月26日、7月29日)
校正刷り原稿の確認、各章の修正原稿作成依頼、章立ての検討
- *AI編集委員会、第6期アレルギー疾患ガイドライン委員会合同コアメンバー会議（Web）（2022年5月26日）
AI誌掲載の英文ガイドラインのタイトルについて検討。
- 診療報酬・医療問題検討委員会（医療問題検討委員会は2021年6月20日に診療報酬検討委員会と統合、同委員会は、2022年6月19日に名称変更された）
学会員に向けて、2024年度（令和6年度）年度診療報酬改定項目に関する意見聴取を開始した（2022年7月27日～9月9日）。
- 用語委員会
アレルギー学用語集改訂版の発刊に向けて用語の精査、確認作業ののち、「アレルギー学用語集改訂第3版 オンライン版」を発行した（2022年5月30日）。さらに用語の「略語」を追加するためオンラインシステムの改修を行った（2022年7月25日）。厚生労働省社会保障審議会統計分科会「疾病、傷害及び死因分類専門委員会」の要請に応じ、ICD-11の改正作業に協力。
- 働き方改革推進委員会
第71回学術大会時開催の働き方改革推進委員会企画セミナー、展示ブースの検討。

[特別委員会]

- アレルギー疾患対策基本法特別委員会（2022年7月18日）
アレルギー疾患対策基本法に則した施策の検討、2022年度の厚生労働省助成事業（アレルギー情報センター事業）内容の検討。
- IT推進特別委員会（2022年6月29日）
新会員管理システムの運用を開始。

[その他委員会]

- 臨床アレルギー講習会ワーキンググループ
*第5回臨床アレルギー講習会ワーキンググループ
第5回臨床アレルギー講習会（2022年9月11日（日））の開催準備。
- 「Total allergistのための分子標的治療の手引き」作成WG（2022年7月8日、14日）
「Total allergistのための分子標的治療の手引き」のPDF版を2022年9月発行予定として編集作業を進めている。